



**秋元 直樹 議員 10**

生田原保育所の廃止の時期は



**渡辺 清夏 議員 11**

ヒグマ出没に対する町独自の安全  
対策の考えは



**戸松 恵子 議員 12**

不登校の子どもが安心できる支援  
と居場所づくりを



**遠藤 明美 議員 13**

再生可能エネルギーによる町民の  
不安への対応は



**白幡 隆一 議員 14**

下水道普及促進に向けて条件など  
の見直しは



**佐藤 昇 議員 15**

町長選挙の結果を踏まえた以降の  
町政運営は



**阿部 君枝 議員 16**

町民生活を守る物価高騰対策を  
ほか1件

ちょっとひとりごと

質問に対する議員の思い  
や、議員が最近考えている  
ことなども、ひとこと語っ  
てもらいました。

# 一般質問

## ここが聞きたい！

令和7年第6回町議会（定例会）の一般質問には7人の議員が登壇し、町政に対するさまざまな課題について、現状や今後の方向性を町長などに問い質しました。

一般質問とは、議員が町長や教育長などに、対し、町政に関するさまざまな課題について、考えを聞いたり提案をしたりするもので、質問と答弁がかみ合うように全文通告制を採っています。

なお、再質問からは一問一答方式で行い、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。

# 生田原保育所の

## 廃止の時期は

町長へ計画より1年先延ばしし、  
令和8年度末で統合廃止としたい

### 問

令和6年11月に策定された遠軽町公共施設見直し方針の中で、生田原保育所については令和7年度をもって廃止となる方向性が示されています。

この判断については、



保育所の入所児の推移（人）					
区分	R3	R4	R5	R6	R7
生田原	6	4	5	3	3
安 国	14	12	9	14	15

上) 生田原保育所を施設調査する議員たち  
下) 生田原保育所と安国保育所の入所児の推移

入所児の減少により地域の保育所の維持や職員の配置に困難が生じていることから、一定の理解をしているところです。  
今後どのような形で廃止の手続きを行い、安国保育所との統合を進めて

理解はできるけど、自分が通った保育所がなくなるのは寂しいな

ちょっとひとりごと

いくのか、3点について質問します。  
①現在示されている廃止の方向性と時期について、変更する考えは。  
②生田原保育所の廃止により、町の財政負担は年間の程度改善されますか。  
③現在生田原保育所には3人の子どもたちが通っており、今後保育所への入所を希望する子も生田原地域内に居住しています。親の負担を減らすため、安国保育所への送迎が必要と考えますが町の考えは。

### 答

①遠軽町公共施設見直し方針においては、生田原保育所については、令和7年度をもって安国保育所への統合廃止としています。

令和8年度は保育を継続し、令和8年度末をもって統合廃止にしたいと考えています。

現在の入所児は、4歳児が2人、3歳児が1人であり、4歳児2人が令和8年度末で保育所の修了を控えていることから1年延期とし、通所されている入所児と保護者へ配慮したものです。

②財政負担がどの程度改



CHECK

生田原保育所は  
昭和47年建設  
安国保育所は  
平成5年建設

善されるかについては、令和7年度予算ベースで約3000万円の削減が見込まれます。  
③安国保育所への送迎が必要ではないかとの質問については、統合廃止時点で生田原保育所に通所している生田原在住の入所児は、町による送迎ではなく保護者による送迎に対して交通費助成を行いたいと考えています。



あきもと 秋元 直樹 議員



## ヒグマ出没に対する 町独自の安全対策の考えは

町長～市町村単独ではなく広域的に  
取り組むべき問題と考えます

**答**

地元猟友会による  
付近のパトロール

**問**

国や北海道ではヒグマ被害に対する会議が開催され、陸上自衛隊も参加するなど異例の対応が取られる中で、町としては現状把握と対策についてどのように考えていますか。

**答**

警察と情報を共有して北海道警察の「ほくとアプリ」を活用していますが、町の独自の情報提供として※町のホームページや公式LINEでの情報提供体制を整えている段階であり、近々案内が可能です。

**問**

全町民にリアルタイムでの情報提供が重要だと思えますが、それに対する考えは。

や足跡等の痕跡確認を実施して警戒し、人の生活圏での出没には広報車や近隣宅への訪問による注意喚起やチラシの配付を行っています。また学校や保育所を所管する部署と情報共有して児童等の安全を確保しています。さらに8月には各地域の猟友会や遠軽警察署等が参加した実地訓練を実施し、緊急時への対応に取り組んできました。

**問**

子どもたちにはどのような対策を考

えていますか。北海道教育局から、今後の対応策や未然防止策が示され、児童に対する安全指導やヒグマに遭遇しないための行動等に関する指導を行うと記載されていますが、これに則って指導を



CHECK

ヒグマの出没情報

※町では、12月30日から下図のとおりホームページや公式LINEを通じてヒグマの出没情報の提供を始めました。詳しくはQRコードからアクセス。



行う予定はありますか。

**答**

学校では朝の会や帰りの会において、登下校の際にヒグマと遭遇した場合の基本的な対応を注意喚起しているほか、野生動物をテーマとした学習やヒグマの生態についての学習を

**答**

ヒグマの行動範囲を考えたとき、広域で対応しなければならぬことから「クマ被害対策パッケージ」に基づき進めたいと考えており、町単独での対応は難しいと考えています。

**問**

国が示した「クマ被害対策パッケージ」に則った対策ではなく、町独自の対策は考えていますか。

行ったこともあり、来年度以降でも総合的な学習の時間を使って指導することを考えている学校もあります。

町独自の対策もやってほしかったなあ

ちょっと  
ひとりごと



わたなべ さやか  
渡辺 清夏 議員

# 不登校の子どもが安心して る支援と居場所づくりを

教育長／新庁舎でも、これまでと  
同様に2か所での対応を行います

## 問

全国の不登校の児童生徒は、この10年間で約3倍になっており、昨年遠軽町では57人が不登校でした。不登校は、もはや特別なケースではなく誰にでも起こり得るものだという認識のもとで、官民を問わず取り組み姿勢が求められています。

① 遠軽町の教育支援室の利用状況は少ないと聞きましたが、その要因をどう認識していますか。  
② 新庁舎完成後の学び



遠軽町内の状況	
児童生徒数	不登校児童生徒数
約 1,100 人	57 人

上) 江別市の不登校児童生徒の支援体制を調査する議員たち  
下) 令和6年度における町内小中学校の状況

## 答

① 毎年、年度当初に学校を通じて教育支援室の案内に関するチラシを各家庭に配布し周知をしていますが、「登校するという結果のみを目標にするのではない」「不登校の時期が、休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある」という考え方が保護者に広がっていると感じています。このことから、教育支援室などに

の場の確保や、学校と家庭以外の居場所づくりはどのように考えていますか。

不登校の子どもたちが「ほっ」とできる場所が必要だね

ちょっとひとりごと

## 問

現在の教育支援室は、子どもの状況に合わせた個別にくつろげるスペースがありませんが、今後このようなスペースを設置する考えはありませんか。

## 答

すみれの会では、いつでも相談してくださいという体制を整えています。相談件数が少ない状況ですので、今後は周知の方法を工夫していきます。

## 問

町内には「すみれの会」という不登校の子を持つ親の会があると聞いています。今後の相談体制の充実についてどう考えていますか。

## 答

いろいろなものを工夫しながら、設置については考えていきたいと思っています。



とまつ けいこ 議員  
戸松 恵子



## 再生可能エネルギーによる 町民の不安への対応は

町長～住民に寄り添いながらケース  
バイケースで対応していきたい

**問**

現在、再生可能エネルギーが推奨され、遠軽町でもここ数年太陽光発電施設が増え、町民の不安の声が聞かれます。町から太陽光発電施設に関して、令和8年4月の施行を目指してガイドラインを策定すると示され、一定の抑止力になると期待しています。

**答**

① これまでも住民に寄り添いながら可能な限り対応してきており、今後も同様の対応をしていきます。  
② 風力発電と太陽光発電は異なる点が多いことから、現時点において風力発電のガイドラインは、策定時期も含めて検討中です。国では、規制強化に向けた政策パッケージを年内に公表する方針ですので、当面はこうした

一方で、今後太陽光発電から風力発電にシフトしていく懸念があり、今後も注視しなければならぬと考えます。

そこで①ガイドラインが整うまで町としてどのように対応していくのか、②常任委員会の説明で風力発電に対するガイドラインを今後検討するとのことでしたが、いつ頃の策定を目指しているのか質問します。

発電が不安定な再生可能エネルギーは誰のためにあるのでしょうか？

ちょっと  
ひとりごと

**問**

寿町で10月に行われた太陽光発電の説明会に町からも職員が出席したことで、町の問題意識が伝わり企業側への抑止力になったと考えています。今後も住民説明会があったときには、

**答**

いろいろなやり方がありますので、町としても住民に寄り添いながらケースバイケースで対応していきたい。

**問**

再生可能エネルギーの町民が抱える

**答**

さまざまな事業者が来られますが、町として強く申し入れているのは環境のことと地域住民との関係のことで、これは引き続き重要な事案であると強く申しています。



町民憲章で、豊かな森林とそこから生み出される清流によって遠軽町は育まれたとうたっているように、豊かな自然は町の魅力のひとつ

町側からも出席する意向はありますか。

不安として、環境破壊と撤去費用の問題があると思います。他町では、洋上風力発電施設の撤去費用が2基で4億円とされている事例もあります。遠軽町民にもこうした不安があると思います。が、環境に対する考え方は。



えんどう あけみ  
遠藤 明美 議員

## 下水道普及促進に向けて

### 条件などの見直しは

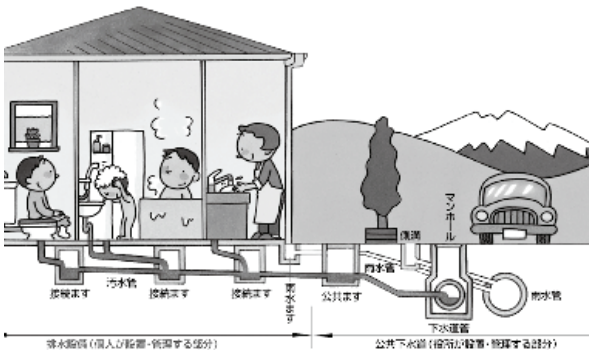
町長「料金体系に影響を与えることも考えられるため見直しはしません

#### 問

遠軽町における下水道は、計画に基づいて事業が展開されており、町内の下水道の水洗化率は令和5年度で96%、目標値として令和11年度で97%となっています。

一方で、下水道区域内

において水洗化の希望があるにも関わらず、水管が敷設されている公道からの距離的問題などにより条件が満たされず水洗化できない事例も聞いています。



下水道接続におけるイメージ図。公共下水道（役所が設置・管理する部分）から離れた場所に住宅を建てた場合、接続させるまでの距離が長く費用の負担が大きくなる

#### 答

指摘した事例は、町道等の公道から住宅までの間、いわゆる私有道路の距離が長い事例のことと思います。

私有道路に下水管を敷設する場合の条件として、私道敷地延長が50メートル以上あること、当該公共下水道に下水を排除する家屋が3戸以上あることなどの規定を設け、設置を希望する代表者からの申請で採否を決

上下水道は命と生活を守る大事な事業。土の中で目立たないけどね

ちょっとひとりごと

今後、水洗化の普及促進に向けて敷設条件の見直しなど、どのような方策を考えていますか。

定し敷設しています。敷設条件の見直しについては、現在の下水道料金体系に影響を与えることも考えられるため、見直す考えはありません。

#### 問

条件を満たさない場合、自費で設置すると費用がかかりすぎることから、個別排水処理事業による浄化槽設置など、柔軟な対応は考えられませんか。

#### 答

質問されたケースにおいて自費で敷設する場合は、受益者負担金を免除して負担軽減

#### 問

下水道認可区域内で条件が満たされず水洗化できない地区については、認可区域を見直し、個別排水処理事業で対応できませんか。

#### 答

個別排水処理事業については、下水道認可区域は対象外としています。区域の見直しは可能ではありますが、町づくりという広い観点からも慎重に考えなければなりません。



しらはた 白幡 議員  
りゅういち 隆一



## 町長選挙の結果を踏まえた 以降の町政運営は

町長～財政基盤の上にたった  
町政運営を図りたい

問

9月28日に実施された町長選挙は、町村合併後初の選挙戦となり、佐々木町長はまちづくりへの政策5点の柱とまちづくりの基盤となる主な公約4点を掲げ、他候補は住民生活の底上げを訴え、選挙戦が展開されました。

結果、佐々木町長が5

421票、他候補は2814票となり、佐々木町長が引き続き5期目の町政運営を担うこととなりましたが、2点について質問します。

①選挙における得票結果はさまざまな見方がありますが、町長はどう受け止めていますか。

②他候補が主張した「町内で通学する遠軽高校生に対する支援」「満18歳までの医療費助成」などは、これまで一般質問などでも幾度となく取り上げられていますが、今後の町政運営を進めていく上でどのような認識を持っていますか。

答

①選挙結果は票がすべてです。まれに見る投票率の低さは考慮しなければなりません。反対の人が約3割おり、町長としてはそういった結果を踏まえた上で町政運営をしていかな

もっと子育て支援の充実が図られれば完璧なんだけどネエ

ちょっと  
ひとりごと



各地域で開催したカフェぎかいでも、保護者などから遠軽高校に通学する生徒への支援を求める声が寄せられた

問

他候補が主張した  
二つの課題に対す

する遠軽高校生に対する支援」「満18歳までの医療費助成」については、行政改革の動向や町の財政計画に当てはめて考えると、現時点では厳しいと考えます。

答

る声はよく聞きます。行政改革や財政計画を踏まえた中で、それらの実現に向けて町長としての懐の深さを示してもらいたいと思いますが、町長の考えは。

今までもそうでしたが、応援してくれた人の意見のみを取り入れてきたわけではありません。

私の判断基準は、町のためになるかどうかです。ので、しっかりとした財政基盤をつくった上で、懐の広い町長として頑張っていく考えです。

さとう のぼる  
佐藤 昇 議員

## 町民生活を守る

### 物価高騰対策を

町長へ取り急ぎ、

生活者支援事業を進めます

**問**

長引く物価高騰は町民生活に深刻な影響を及ぼし、子育て世帯や年金生活者などの家計に負担が強い。これらの中で、政府は自治体が独自に、柔軟に、物価高対策に活用できるとされる「重点支援地方交付金」を閣議決定しましたが、町ではどのように活用する考えですか。

**答**

交付金の趣旨に添いながら柔軟な活用方法や手法について検討しているところであり、取り急ぎ、生活者の支援事業について、今定例会に追加議案として補正予算を提案したいと考えています。その他の事

業は、準備が整い次第進めていく考えです。

## 男性のHPVワクチン接種への普及啓発や接種支援を



### CHECK

#### 男性のHPVワクチン接種

男性がHPVワクチンを接種することで、次の効果が得られます。

- ① 肛門がんや尖圭コンジローマなどの原因と考えられているHPVへの感染が予防できる。
- ② 性交渉によるHPV感染から相手の女性を守り、子宮頸がんの予防にもつながる。

国内で使用されているHPVワクチンには2価、4価、9価の3種類があり、4価ワクチンの場合、間隔をおいて3回接種を行います。

**問**

男性のHPVワクチン接種は、令和2年12月の承認により4価のHPVワクチンのみ自己負担での接種が可能となりました。

男性が接種することで肛門がんや尖圭コンジローマなどの感染が予防できるほか、感染経路となるパートナーへの感染予防にも有効な接種とさ

HPVワクチンは男女ともに大切なワクチンですと語らねば

ちょっとひとりごと

**答**

町ではこれまで予防接種法に基づく定期接種を実施することとしています。男性のHPVワクチン接種は同法に基づく定期接種ではないので、接種に対する普及啓発や接種費用の支援について、実施する考えはありません。

れています。

このことから、男性の接種に対する普及啓発や接種費用の支援について、どう考えていますか。



あべ きみえ 阿部 君枝 議員